

令和元年度 本牧原地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・地域の人達が自分たちの課題としてできることに取り組んでいかれるよう支援していく必要がある。その解決に向けて、地域によっては組織になっているところや、有志の方たちのそれぞれの支援で成り立っているところ等様々である。いずれにしても地域の方が活動を続けていかれるよう、支援していく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	・地域の会合等に出席し情報収集に努める。また地域住民と協力し「支えあいマップづくり」を行うなど課題の共有に努める。
■	<input type="checkbox"/>	・現在、出席している会合には引き続き参加を続け、町内会ごとで行われるイベントや老人会等の会合に参加し地域情報の収集と把握、資源の特徴を調べる。 ・法人独自で作成している地域アセスメントシートに継続的に更新し、各職種が持つ視点を大事にし日々の業務に活かす。
■	<input type="checkbox"/>	・地域の会議や行事、ケアプラザで実施する誰もが参加できる事業(お祭り、イベント等)を通して参加者からニーズを把握する。
■	<input type="checkbox"/>	・地域の老人会がが円滑な活動ができるよう、支援する。 ・集合住宅をテーマに「支えあいマップ」づくりを民児協とともに実施し、住民に横の繋がりを持つことの重要性を認識してもらう。
■	<input type="checkbox"/>	・老人会・地域の集まりに参加し、認知症の症状や予防のための講義を行う。 ・認知症サポーター養成講座を開催する。 ・地域に認知症の方が集えるサロンを地域住民宅を開放して開催予定。 始めてみての課題は担い手住民と共に話し合いの場を持ち継続できるよう支援していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

平成31年度本牧原地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>(1)法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めます。</p> <p>(2)法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みます。</p> <p>(3)館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。</p> <p>(4)事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげます。</p>	<p>(1)介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めます。</p> <p>(2)所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めます。</p> <p>(3)毎月、衛生委員会でリスクマネジメントについての報告、検討をし、産業医からのアドバイスを受けます。</p> <p>(4)地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護研修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。</p> <p>(5)法人のサービス向上課がまとめている法人全体の中の情報漏えいの事故があったさいには職員会議、デイスタッフ会議等で共有します。</p>
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業																																																
目標	<p>(1)介護予防プランが滞ることのない体制を維持します。また、ご本人が、自ら主体的に介護予防、健康維持に取り組めるよう、個別性のあるプランを作成し、要介護状態とならないように努めます。</p> <p>(2)地域ケアプラザ自主事業や、地域でのサロン、社会資源(インフォーマルなサービスも含む)も取り入れた計画を作成します。</p> <p>(3)介護予防プラン、介護予防ケアマネジメント委託先の居宅介護支援事業所をはじめ、関係事業所、地域との連携を密にしていき、包括ケアシステムの構築を念頭におきながら住み慣れた地域に生活し続けられるよう働きかけていきます。</p>	<p>○自立支援、認知症支援、医療連携○</p> <p>(1)在宅生活されているご本人とご家族の意向を尊重して、ケアプランを作成します。</p> <p>(2)ご本人の生活歴を踏まえ、住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように介護保険以外の町内の交流会や 地域ケアプラザにおける自主事業などを紹介していきます。</p> <p>(3)退院後も在宅生活が安心して送れるように 家族、医療機関、地域包括支援センター、在宅サービス事業者などと連携を図り、随時プランの見直しをしていきます。</p> <p>(4)認知症になっても地域の見守りや理解により、在宅生活が継続できるように日頃から主治医、民生委員、近隣の方々を行う情報交換、勉強会、研修会に参加して自己研鑽に努めるとともに地域とのネットワークづくりを推進します。</p> <p>(5)地域ケアプラザ内の居宅介護支援事業所であるメリットを活かして困りごとや課題を 地域の社会資源の発掘や活用に役立てるため 生活支援コーディネーターに伝え 連携をとっていきよう努めます。</p> <p>(6)介護保険制度における制度の説明や具体的なサービスの利用等について、お客様への丁寧な説明を心掛けます。</p>																																																
職員体制	<p>地域包括支援センター職員・・・保健師担当看護師 主任介護支援専門員 社会福祉士 各1名 非常勤従事者……………予防プランナー 1名</p>	<p>常勤専従 4名 常勤兼務 1名 非常勤専従 2名</p>																																																
利用者実績(人)	<table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月							10月	11月	12月	1月	2月	3月							<table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月							10月	11月	12月	1月	2月	3月						
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																													
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																													
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																													
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																													

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護						第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護					
目標	今年度は季節の行事、バイキング等の行事食、曜日レクリエーション、個別のニーズに合わせた機能訓練を充実させ、お客様の意欲の向上と残存機能の維持向上につながるよう取り組みます。						【第一号通所事業】今年度は、運動器機能向上訓練やお客様の生活環境に即した訓練等、個別性の高いプログラムを充実させます。					
実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 〈通所介護〉34名 〈認知症対応型通所介護〉12名						【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 〈第一号通所介護〉34名					
実費負担	〈通所介護〉 ● 負担割合 (1割負担) (2割負担) (3割負担) (要介護1) 692円 1,383円 2,075円 (要介護2) 816円 1,632円 2,448円 (要介護3) 947円 1,893円 2,840円 (要介護4) 1,076円 2,151円 3,226円 (要介護5) 1,205円 2,410円 3,615円 ● サービス提供体制強化加算Ⅱ 7円 13円 20円 ● 入浴加算 54円 108円 161円 ● 中重度者ケア体制加算 49円 97円 145円 ● 食費負担 650円 ※ 介護職員処遇改善加算として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。 〈認知症対応型通所介護〉 ● 負担割合 (1割負担) (2割負担) (3割負担) (要介護1) 1,072円 2,144円 3,215円 (要介護2) 1,188円 2,376円 3,564円 (要介護3) 1,305円 2,609円 3,914円 (要介護4) 1,422円 2,844円 4,266円 (要介護5) 1,539円 3,077円 4,616円 ● サービス提供体制強化加算Ⅱ 7円 13円 20円 ● 入浴加算 54円 108円 161円 ● 中重度者ケア体制加算 49円 97円 145円 ● 食費負担 650円 ※ 介護職員処遇改善加算として利用単位数の1000分の104に相当する単位数の料金が加算されます。						〈第1号通所介護〉 ● 負担割合 (1割負担) (2割負担) (3割負担) 要支援1(週1回程度) 1,766円 3,531円 5,297円 要支援2(週1回程度) 1,766円 3,531円 5,297円 ● サービス提供体制強化加算Ⅱ 26円 52円 78円 要支援2(週2回程度) 3,621円 7,241円 10,861円 ● サービス提供体制強化加算Ⅱ 52円 103円 155円 ● 運動器機能向上加算 242円 483円 724円 ● 食費負担 650円 ※ 介護職員処遇改善加算として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。					
職員体制	〈通所介護〉 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ29名、運転手9名、 看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名 〈認知症対応型通所介護〉 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ14名、運転手9名、 看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名						〈第1号通所介護〉 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ29名、運転手9名 看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名					
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

<シートの保護について>
 行・列の挿入・削除及び科目の変更はできないように保護をかけています。(地域ケアプラザ共通の様式を保つため)

平成31年度「本牧原地域ケアプラザ」
 収支予算書及び報告書(一般会計) <地域活動交流>

(黄色セルが、【バックデータ】シートの各項目と同額になっています)。

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	
指定管理料	16,631,871		16,631,871		16,631,871	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料			0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
その他(指定管理料充当)	0		0		0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	2,782,500		2,782,500		2,782,500	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,617,669		1,617,669		1,617,669	
収入合計	21,032,040	0	21,032,040	0	21,032,040	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	0	11,313,000	0	11,313,000	
本俸	8,385,840		8,385,840	0	8,385,840	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
社会保険料	932,848		932,848	0	932,848	法定福利費支出
手当計	1,596,221		1,596,221	0	1,596,221	職員諸手当・職員通勤費・非常勤職員通勤費
健康診断費	74,524		74,524	0	74,524	職員・非常勤職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	8,250		8,250	0	8,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	183,563		183,563	0	183,563	退職給与掛金
その他	131,754		131,754	0	131,754	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	0	1,358,000	
旅費	11,968		11,968	0	11,968	旅費交通費
消耗品費	122,591		122,591	0	122,591	事務消耗品費
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	100,886		100,886	0	100,886	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	242,691		242,691	0	242,691	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費 田等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	15,179		15,179	0	15,179	傷害賠償保険他
職員等研修費	8,060		8,060	0	8,060	研修研究費
振込手数料	14,592		14,592	0	14,592	振込手数料
リース料	383,510		383,510	0	383,510	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	21,579		21,579	0	21,579	EBサービス手数料等
地域協力費	0		0	0	0	
その他	436,944		436,944	0	436,944	
事業費	306,000	0	306,000	0	306,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算:指定額
指定管理料充当 事業	264,000		264,000	0	264,000	
管理費	7,150,000	0	7,150,000	0	7,150,000	
建築物・建築設備点検	300,000		300,000	0	300,000	
光熱水費	3,817,407	0	3,817,407	0	3,817,407	
電気料金	993,209		993,209	0	993,209	
ガス料金	984,189		984,189	0	984,189	
水道料金	1,840,009		1,840,009	0	1,840,009	
清掃費	2,090,340		2,090,340	0	2,090,340	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算:指定額
機械警備費	117,178		117,178	0	117,178	
設備保全費	312,247	0	312,247	0	312,247	
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	84,400		84,400	0	84,400	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	227,847		227,847	0	227,847	
共益費	38,828		38,828	0	38,828	
その他			0	0	0	
公租公課	905,040	0	905,040	0	905,040	
事業所税			0		0	基本的に、この行は入力しません
消費税	905,040		905,040	0	905,040	
印紙税			0		0	基本的に、この行は入力しません
その他()			0		0	基本的に、この行は入力しません
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	基本的に、この行は入力しません
本部分			0		0	基本的に、この行は入力しません
当該施設分			0		0	基本的に、この行は入力しません
二一対対応費			0		0	基本的に、この行は入力しません
支出合計	21,032,040	0	21,032,040	0	21,032,040	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	619,070		619,070	0	619,070	自主事業への参加料等
自主事業費支出	919,760		919,760	0	919,760	自主事業経費
自主事業収支	△ 300,690	0	△ 300,690	0	△ 300,690	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成31年度「本牧原地域ケアプラザ」
 収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支

（黄色セルが、【バックデータ】シートの
 と同額になっています。）

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	29,108,000		29,108,000		29,108,000	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入						基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当事業（包括）	0					
指定管理料充当事業（介護予防）	0					
指定管理料充当事業（生活支援）	0					
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
その他（指定管理料充当分）	0		0		0	
その他（提案時控除 法人負担分）	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	37,083,000	0	37,083,000	0	37,083,000	

説明欄は、主な用途などを必要に応じて記入してください。（現在入力してある文字等の削除も可）

＜シートの保護について＞
 行・列の挿入・削除及び科目の変更はできないように保護をかけています。（地域ケアプラザ共通の様式を保つた）

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	0	32,689,000	
本俸	17,710,350		17,710,350		17,710,350	職員給与・職員賞与
社会保険料	2,740,259		2,740,259		2,740,259	法定福利費支出
手当計	3,761,244		3,761,244		3,761,244	職員諸手当・職員通勤費
健康診断費	52,709		52,709		52,709	職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	33,750		33,750		33,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	750,938		750,938		750,938	退職給与掛金
その他	7,639,750		7,639,750		7,639,750	
事務費	1,303,000	0	1,303,000	0	1,303,000	
旅費	9,916		9,916		9,916	旅費交通費
消耗品費	111,158		111,158		111,158	事務消耗品費
会議ठी費	0		0		0	
印刷製本費	151,372		151,372		151,372	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	269,555		269,555		269,555	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費用等
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	23,350		23,350		23,350	傷害賠償保険他
職員等研修費	6,288		6,288		6,288	研修研究費
振込手数料	14,592		14,592		14,592	振込手数料
リース料	439,816		439,816		439,816	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	21,579		21,579		21,579	EBサービス手数料等
地域協力費	0		0		0	
その他	255,374		255,374		255,374	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	0	1,190,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業（包括）	100,000		100,000		100,000	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000		151,000	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000		309,000	予算：指定額
管理費	1,901,000	0	1,901,000	0	1,901,000	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算：指定額
光熱水費	1,014,753	0	1,014,753	0	1,014,753	
電気料金	264,017		264,017		264,017	
ガス料金	261,620		261,620		261,620	
水道料金	489,116		489,116		489,116	
清掃費	555,660		555,660		555,660	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
機械警備費	22,719		22,719		22,719	
設備保全費	83,001	0	83,001	0	83,001	
空調衛生設備保守					0	
消防設備保守					0	
電気設備保守	22,435		22,435		22,435	
害虫駆除清掃保守					0	
駐車場設備保全費					0	
その他保全費	60,566		60,566		60,566	
共益費	28,119		28,119		28,119	
その他	70,748		70,748		70,748	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税					0	
消費税	0		0		0	
印紙税					0	
その他（ ）					0	基本的に、この行は入力しません。
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分					0	
当該施設分					0	
二一ズ対応費					0	
支出合計	37,083,000	0	37,083,000	0	37,083,000	
差引	0	0	0	0	0	

緑に着色した科目のみでなく、その内訳にあたる各科目についても、可能な限り入力してください。

（注）【バックデータ】の金額と合わせるため、「本俸」欄に人件費をまとめて計上していますが、実際の作業では、「人件費」の内訳（セルE25～E31）それぞれに入力してください。

（注）【バックデータ】の金額と合わせるため、「消耗品費」欄に事務費をまとめて計上していますが、実際の作業では、「事務費」の内訳（セルE33～E49）それぞれに、可能な限り、入力してください。

（注）【バックデータ】の金額と合わせるため、「清掃費」欄に管理費をまとめて計上していますが、実際の作業では、「管理費」の内訳（セルE57～E72）それぞれに、可能な限り、入力してください。

自主事業費収入	0		0		0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0		0	自主事業経費
自主事業収支	0		0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成31年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

令和 元年4月1日～令和 2年3月31日

施設名:本牧原地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,216			2,890		2,890	35,264		35,264	96,470		96,470	4,719		4,719	40,973		40,973
	その他	0	0	0	0	0	0	1,508	0	1,508	6,521	0	6,521	1,938	0	1,938	2,107	0	2,107
	事業・負担金収入			0			0	1,508		1,508			0			0			0
				0			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	6,521		6,521	1,938		1,938		2,107	
	収入合計(A)	5,216	0	5,216	2,890	0	2,890	36,772	0	36,772	102,991	0	102,991	6,657	0	6,657	43,080	0	43,080
支出	人件費	385		385	213		213	26,483		26,483	64,580		64,580	18,003		18,003	31,914		31,914
	事務費			0			0	2,374		2,374	5,689		5,689	1,586		1,586	2,711		2,711
	事業費	8		8	4		4	103		103	7,266		7,266	2,025		2,025	2,979		2,979
	管理費			0			0	0		0	5,504		5,504	1,534		1,534	2,072		2,072
	その他	4,007		4,007	2,221	0	2,221	0	0	0	488	0	488	29	0	29	56	0	56
	利用者負担軽減額			0			0			0	180		180			0	22		22
	消費税			0			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0			0
	その他	4,007		4,007	2,221		2,221			0	308		308	29		29	34		34
	支出合計(B)	4,400	0	4,400	2,438	0	2,438	28,960	0	28,960	83,527	0	83,527	23,177	0	23,177	39,732	0	39,732
	収支(A)-(B)	816	0	816	452	0	452	7,812	0	7,812	19,464	0	19,464	-16,520	0	-16,520	3,348	0	3,348

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

本牧原地域ケアプラザ

平成31年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	

事業の性質 1 優先的に取り組みが求められる事業

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	参加人数
1	ふれあいサロン潮風	平成15年度～	3 生活支援体制整備事業	1 高齢者	地域	1 優先的に取り	閉じこもり防止と仲間作りの支援。要援護者の発掘。事業運営や体操の担い手ボランティアの育成。	地域の高齢者を対象にした仲間づくりのサロン。毎月第1木曜日に実施。歌と脳トレを取り入れた音楽レクリエーションを中心に毎月ボランティアの協力でプログラムを提供する。		
2	寿和の会	平成16年度～	1 地域交流	1 高齢者	地域	1 優先的に取り	継続的に事業を行うことで、転倒骨折を予防する。仲間づくりを支援する。	継続的に事業を行うことで、転倒骨折を予防する。仲間づくりを支援する。		
3	シルバー健康体操教室	平成12年度～	1 地域交流	1 高齢者	地域	1 優先的に取り	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。体操についていけなくなった方を包括と連携し、フォローする。	65歳以上の高齢者を対象としたリズム体操教室。毎月第1.3金曜日に実施。		
4	のびのび元気体操	平成27年度～	1 地域交流	1 高齢者	地域	1 優先的に取り	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。体操についていけなくなった方を包括と連携し、フォローする。	65歳以上の方を対象にした体操教室。ラジオ体操やマットを使用したストレッチ体操などを行う。毎月第1.3水曜日に実施。		
5	健脳体操教室1.2	平成16年度～	1 地域交流	1 高齢者	地域	1 優先的に取り	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。	年齢問わず地域の方ならどなたでも参加できる体操教室。脳に刺激を与えながら日常生活に必要な筋力を鍛える。YMCAに講師を依頼。毎月第2.4木曜日に実施。自主グループは第3木曜日に活動中。		
6	バリスタコーヒーラウンジ	平成31年度～	1 地域交流	5 地域	地域	2 発展させるね	地域の新たな担い手としてモーニングカフェの運営ボランティアとなり活動する。	地域の方に寄附していただいたレコードを聴きながら、モーニングコーヒーを楽しんでいただく。毎月第2金曜日10時から11時30分に実施。男女問わず参加ができ、珈琲を飲みながら地域の交流をはかる。		
7	ボランティア講座	平成30年度～	4 共催(1と2)	5 地域	地域	1 優先的に取り	高齢者が身近な地域で介護予防を意識できるよう、具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会の提供。	作業療法士による活動を通しての健康増進の意義と認知症予防、仲間作りの必要性についての講座。地域交流が毎年開催する貸し館説明会時に合わせて開催。		
8	脳イキイキ教室	平成18年度～	1 地域交流	1 高齢者	ボランティア	2 発展させるね	定期的な事業参加のための外出や読み書き計算により認知症の予防をはかる。歓談コーナーを設け、仲間づくりを支援する。教室の卒業生をボランティアとして次の事業へつなげる。	ボランティアグループ「脳イキイキ教室サポーターの会」が運営しているくもん学習教室。毎週木曜日に実施。1日に2クラス実施し、それぞれ40分間、読み書き・計算・数字盤(100マス数字並べ)を行う。また、教室内に歓談コーナーを設け、参加者同士やサポーターとの交流を図る。1年半以上継続している参加者は、自主グ		
9	レコードカフェ	平成28年度～	1 地域交流	5 地域	ボランティア	2 発展させるね	男性の外出や仲間づくりのきっかけを提供し、地域にいる新たな担い手をカフェの運営ボランティアへとつなげる。	地域の方に寄附していただいたレコードを聴きながら、コーヒーを楽しんでいただく。毎月第1水曜日に実施。参加者によるリクエストも可能。男性のみを対象とし、女性は男性と一緒にであれば参加可能。		
10	男の料理教室	平成20年度～	1 地域交流	5 地域	ボランティア	2 発展させるね	男性の家事の自立支援と健康意識の向上をはかる。配食ボランティアの育成。	和洋中の各種メニューをとりまぜ、様々な料理に挑戦する。毎月、第2日曜日に実施。参加者がグループに分かれて調理を行い、完成した料理を講師を含めて会食する。毎回、講師と参加者で次回、挑戦するレシピを考える。		

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加数
11	シニアリトミック	平成29年度～	1 地域交流	1 高齢者		1 優先的に取り	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。 体、頭、心を同時に使って音楽のゲームを楽しむことで脳の活性化を図る。	毎月第4月曜日に実施。 講師によるリトミック講座。		
12	子育てサロン	平成15年度～	1 地域交流	3 乳幼児	子ども	1 優先的に取り	子育て中の親子がリフレッシュするとともに、育児の情報交換や仲間づくりの場を提供する。	子育て中の親子が集うサロン。毎月第3火曜日に実施。 基本的に自由遊びだが、年に数回地域のボランティアによる読み聞かせを実施。 地域の民生委員・児童委員や主任児童委員、保健活動推進員協力で実施。		
13	夏休み子ども料理教室	令和元年	1 地域交流	4 子ども	ボランティア	1 優先的に取り	・小学生がケアプラザを利用するきっかけをつくる。 ・子どもと地域のボランティアの方とで異世代交流をはかる。	・小学生が地域の方と一緒に小麦粉から作るうどん作りに挑戦する。 ・大島中学校コミュニティと共催役割分担をする。 7月下旬開催。		
14	小学生のお菓子作り教室	平成13年度～	1 地域交流	4 子ども	子ども	1 優先的に取り	・小学生がケアプラザを利用するきっかけをつくる。 ・子どもと高齢者で異世代交流をはかる。	・小学生がお菓子作りに挑戦し、作ったお菓子を地域の高齢者にふるまう。 ・大島コミハと役割分担をする。		
15	チャレンジ新生ポレポレグッズ作り	平成30年度～	1 地域交流	5 地域	地域	1 優先的に取り	・区内中途障がい者事業所と地域住民との交流 ・事業所の活動内容を知ってもらい、障がいの理解につなげていく。	・ケアプラザの文化祭期間に近隣の事業所の利用者がポレポレグッズで人気の高い商品を地域の方と一緒に作る。初回はチャレンジ新生の掃除グッズ「すみっこさん」を体験する。		
16	はらっぱコンサート	平成30年度～	1 地域交流	5 地域	地域	1 優先的に取り	・音楽を通して地域の子どもから大人の異世代交流をはかるとともに、登録団体、ボランティア団体の発表の場を提供する。	・地域住民向けにボランティア団体による発表。		
17	ボランティア交流会	平成28年度～	1 地域交流	1 高齢者	ボランティア	1 優先的に取り	・ケアプラザのボランティアさんの日頃の活動に感謝し、またボランティア同士の交流と情報交換の場所を提供する。	・ボランティア(個人及び団体)活動の紹介と交流。		
18	ベビママヨガ	令和元年	1 地域交流	3 乳幼児	親子	1 優先的に取り	・子育て世代にもケアプラザを知ってもらおう。 ・地域の交流をはかり、母親が心身ともに健康であることで子育てに前向きになれる。	・対象：首が座った赤ちゃん～未就園児 各10組 計3回開催。		
19	豚汁の会	令和元年度～	3 生活支援	5 地域	ボランティア	2 発展させたい	日中独居、また体力の低下で外出の機会が減ってきた高齢者が食事を通して交流する機会を作る。	地域の老人会やヘルスメイト等の関係機関の協力してもらい、簡単に調理できる食事づくりを通して交流を深める。		
20	グリーンリーフ地域勉強会	平成20年度～	6 共催	6 事業者	地域	1 優先的に取り	介護者、民生委員、ケアマネジャーなどが介護技術や疾病などについて勉強する機会を設ける。	医療勉強会、認知症サロン、地域・ケアマネジャー向けサービスの勉強会を開催。		
21	スポーツ吹き矢健康教室	平成30年度～	3 生活支援	1 高齢者	地域	2 発展させたい	・高齢者の健康増進および仲間づくりを目的とする。 ・老若男女楽しめる生涯スポーツであることから、将来的には多世代交流も視野に入れ展開する。 ・地域の高齢者の健康づくりの担い手として活動を促進する。	スポーツ吹き矢を通して健康づくりと仲間づくりを進める。		
22	アクティブライフを応援～姿勢とウォーキング～	平成30年度～	3 生活支援	1 高齢者	地域	2 発展させたい	・地域住民の健康増進、体力向上、仲間づくり。 ・正しい姿勢を知ることで、効果的なウォーキング方法を身につける。	・横浜市体育協会で開催している出張姿勢測定会を実施。結果を踏まえ各自適したトレーニング方法を指導、姿勢と歩き方について理解を深める。		
23	あおぞらゆっくりウォーキング	平成30年度～	3 生活支援	5 地域	高齢者	2 発展させたい	・参加者同士の親睦を図り、交流を促進する。 ・ウォーキングを通じて仲間づくり。	・共通の趣味や興味を通じて地域住民の交流を深める。		
24	地域デビュー応援講座 傾聴ボランティア入門	平成30年度～	3 生活支援	5 地域		2 発展させたい	・傾聴を通して相手の気持ちに寄り添い、汲み取ることができるスキルを身につける。 ・施設内また地域の施設等での活動に繋げ、新しいインフォーマルサービスとして位置づける。	傾聴の基本を理解し、実際にボランティア活動に結び付ける。		

平成 31 年 2 月 25 日

平成 30 年度中区地域ケアプラザ 事業実績評価結果概要（兼事業計画コメントシート）

本牧原地域ケアプラザ

総合評価 [A]

事業実績評価概要 → 事業計画書コメント

(区より)

(ケアプラより)

■ 全事業共通

<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職種がそれぞれの専門性を発揮すると共に、課題を共有し解決に向けた連携が取れています。その結果、近隣住民や関係支援のネットワークが着実に構築されています。地域の新たな取組やニーズを積極的に見つけ出し、必要な支援に取り組んでいます。 地域によって異なる課題を抱えていますが、それぞれの地域特性に応じた働きかけがなされています。今後は、更に地域住民が主体性をもって地域課題に取り組めるよう支援していくことを期待します。 	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動交流・地域包括支援センター・生活支援コーディネーターの 5 職種が連携していきます。月 1 回、5 職種会議を開催し情報交換と地域課題解決に向けた取り組みを各職種の強みとそれぞれの情報を共有しチームとして行います。地域支援チーム会議に参加し地域課題を区と共有し課題解決に向けた取り組みを区と共働で行います。 地域の会議、行事に参加し地域課題の把握に努めます。地域の課題を地域の方々が自分達の課題として取り組んでいかれるように支援していきます。そのために必要なネットワークの構築と日頃からの顔の見える関係作りをしていきます。
---	---

■ 地域活動交流事業

<ul style="list-style-type: none"> 地域のニーズに合わせた事業内容の更新・展開がなされています。地域課題についても、男性の居場所がないことや支援の担い手としての高齢者・障害者の活躍など丁寧に対応されています。見出された個別の課題については、各専門職が更に連携して解決に向けて取り組まれることを期待します。 活動団体については活動団体それぞれや地域とのつなぎ役を担い、多世代・多層的なネットワーク構成に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度バリスタ講座を受講した男性ボランティアを中心に「バリスタ珈琲ラウンジ」を毎月開催する。男性の活躍の場を広げるとともに新たなメンバーの発掘に努めます。また、担い手不足の解決、元気な高齢者の地域貢献を通じた生きがいづくりのために今後も定期的にシニアポイント研修登録会を開催します。
--	---

■ 生活支援体制整備事業

<p>・開設した居場所や講座に参加した地域活動を担っていただける人財が地域に根付くよう、多様な機関や団体と丁寧な調整をしていただきました。課題検討に止まらず、具体的な活動となっています。</p> <p>・次年度は、エリア内にある商店街や企業の動きと上手く連動させた取組を期待しています。</p>	<p>・老人会や高齢者食事会など参加している方々からさらに情報収集を進め、住民主体の見守り体制が構築できるよう支援していきます。</p> <p>・「買い物支援」や「移動支援」など商店街や企業と協同し取り組めるものを精査し、地域住民と協議する場を設けていきます。</p>
---	--

■ 地域包括支援センター運営事業

<p>・地域住民と地域の諸団体、関係機関が連携できるよう、日常的に働きかけることで、地域との信頼関係を築くことができます。また、定期的に勉強会を開催し、介護支援専門員のスキルアップや地域ネットワーク構築の支援を積極的に行っています。また、認知症を抱える人の介護者が集える場を毎月設定し、介護者の精神的な負担軽減に大きく貢献していただいています。</p> <p>・今後も引き続き少しでも多くの方が、安心して暮らせる地域づくりを進めていただくと共に、成功事例を区全体で共有していただけることを期待しています。</p>	<p>・地域住民が主体となって見守り支援等の活動ができるよう、また現在活動されている方々が必要な知識を習得し協力機関とつながりながら続けていかれよう見守りマップ作りや地域の話し合いの場に定期的に参加していきます。また、認知症サポーター養成講座、介護者の集いを引き続き実施していきます。</p> <p>地域住民が自ら介護予防や認知症予防に取り組みまた、担い手としても積極的にかかわっていかれるよう元気づくりステーションや集いの場を支援していきます。</p>
--	---

区の評価概要に対して、31年度の目標等について右側の欄に簡単に記入し、事業計画書と一緒にご提出ください。